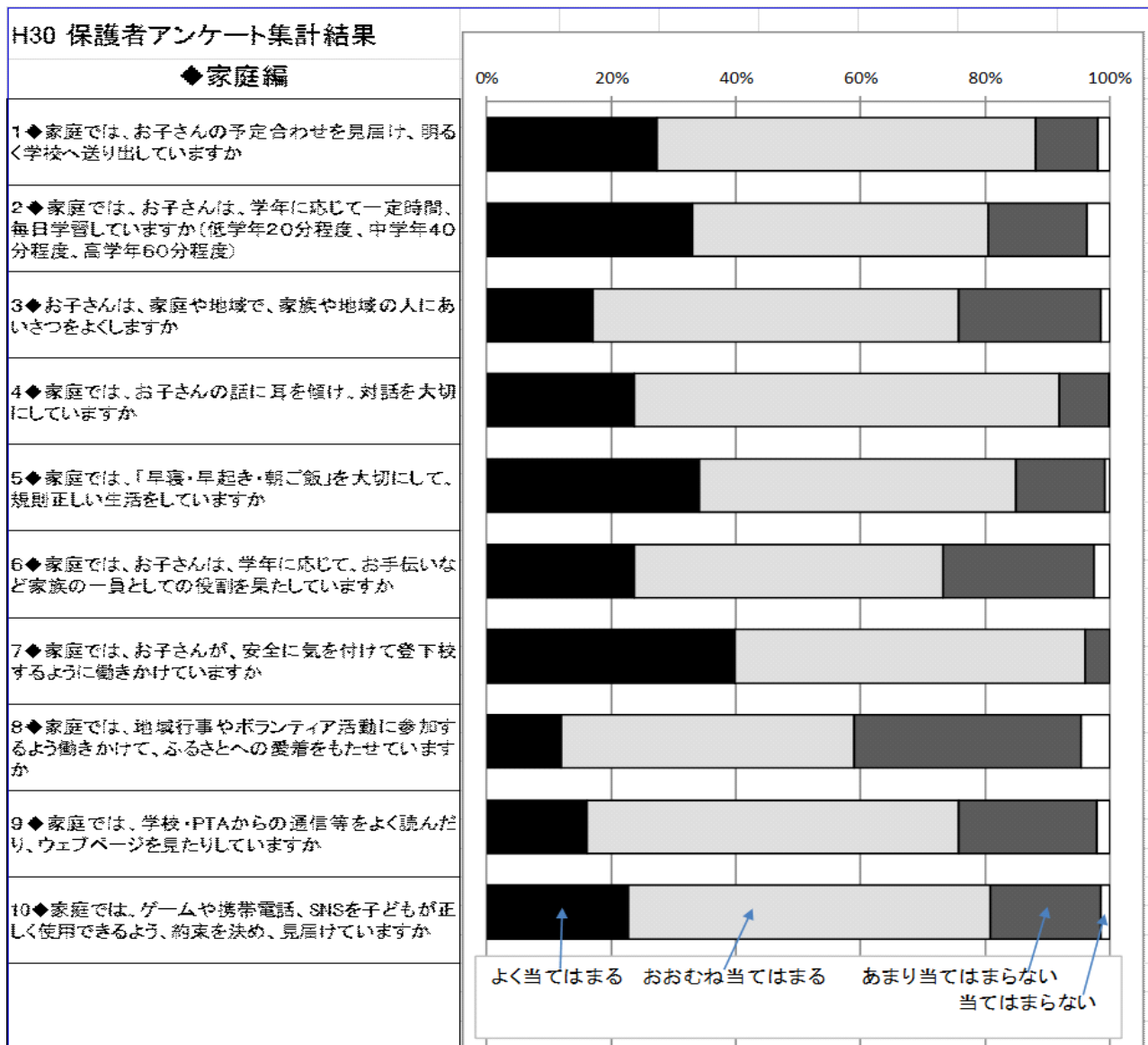




- ・設問9の「よく当てはまる」「おおむね当てはまる」が90%を超える一方、設問8、設問10の評価がやや低くなっています。ふるさと学習や情報モラル教育、ICT機器を使った学習は、どの学年でも行っていますが、その学習の内容や様子が保護者の皆様に伝わっていない面もあるかと思われます。今後、さらなる積極的な情報発信に努めてまいります。また、これらの教育活動のさらなる充実も図っていきます
- ・設問1は、高い評価ではあるものの、「学校が楽しくない」と感じている児童がいないわけではありません。設問2や設問3の評価も踏まえて、日々の授業の充実、児童の心に寄り添った指導が充実させられるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。



＜家庭編では＞

- ・設問4、設問7において、「よく当てはまる」「おおむね当てはまる」が90%を超える評価でした。安心して学校生活を送れるよう、保護者の方がお子さんを支えてくださっていることがうかがえます。
- ・学校編と比較すると、「よく当てはまる」「おおむね当てはまる」が低めの傾向と言えます。学校におけるお子さんの様子よりは家庭における様子の方が把握しやすいこと、お子さんの様子を冷静に見つめ判断されていることなどが理由として考えられます。これからも、お子さんの発達段階に応じた関わりを大切にしながら、お子さんから目や心を離すことがないようお願い致します。
- ・設問8は、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」が40%を超えています。道ばたのゴミを拾うことや、地域の方に挨拶をすることなども、ふるさとに愛着をもたせることにつながります。「ボランティア活動」と構えるのではなく、できることから親子で意識されはどうでしょうか。
- ・設問3、設問6において「あまり当てはまらない」「当てはまらない」が20%を超えています。これらの内容については、学校においてもその大切さについて学ぶ場があります。ご家庭でのご協力もいただきながら、学校における指導も大切にしていきたいと思います。